

愛媛教職員組合（JTUえひめ）

2019年1月1日発行

（新年号）



謹賀新春

昨年は、私ども愛媛教職員組合の運動に対しまして、ご支援・ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

今、日本は憲法と平和・原発再稼働・歴史教科書・辺野古新基地建設・障害者法定雇用率・大学入試の不公平な選考と問題は山積みしています。

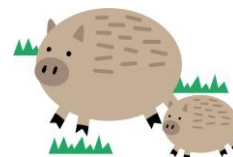
また、雇用不安や経済格差が、子どもたちにも厳しくのし掛かっています。私たちは、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンの下、日教組運動とともに、未来を託す子どもたちが希望をもって学べる学校・社会づくり、また、教職員の多忙化解消をめざして尽力していきます。

本年も、ご支援・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2019年 元旦

愛媛教職員組合

執行委員長 田中 正史（役職員一同）



1 2018年度 愛媛県教委交渉のお知らせ 交渉日：2019年1月4日 交渉申し入れ項目（内容については抜粋）

① 人事委員会勧告と給与について

- 給与表の号数の継ぎ足しを3級だけでなく2級まで拡大すること。

② 全国学力・学習状況調査の結果公表について

- 来年度実施予定の中学校英語科について、PC環境の整備は、教職員の過重負担にならないよう、専門業者に委託すること。

③ 勤務時間の長時間化、目標管理制度による弊害の検証等、超勤・多忙化解消の具体的手立てについて

- 教職員の超勤多忙について、部活動のガイドラインを生かして改善されたが、労働時間はあまり減少していない。現状をしっかりと把握し実質的に労働時間を改善すること。
- 教職員の超勤多忙は、代員不足も生じている。教職員という職業の魅力をアピールし、正規教職員と代員を確保すること。

④ 人権・同和教育、特別支援教育について

- 人権・同和教育が形骸化し、後退している。一方、ネット社会には差別があふれている。教育委員会・学校教育をあげて「差別の現実から深く学ぶ」という原点に立ち返り、再構築をすること。

⑤ 事務職員の勤務について

- 事務職員による共同実施が行われているが、学校事務の円滑な実施や事務職員の多忙化解消には、各校1名の配置が必須である。そのための予算を確保し、配置を進めること。

⑥ 学校講師の権利拡大について

- 講師経験者に対して、その経験年数を考慮するなどの加点制度を取り入れること。また、一次試験合格者については、永年一次試験を免除すること。
- ⑦ 高齢教職員について
- 55歳以上の教職員が働きやすい実現可能な職種・労働時間を豊富に用意し、教職員の定年延長に備え再任用を進めること。
- ⑧ 土曜日授業等について
- 学校五日制の趣旨・目的を尊重し土曜日授業を実施しないこと。
- ⑨ 会計年度任用職員（臨時・非常勤）や少数職種（ICT支援教員等）の待遇について
- 会計年度任用職員制度の導入に際し、勤務条件が改善される方向で条例等に明文化すること。また、人事・給与システムの改修に際しては、2018年10月の総務省事務処理マニュアルの指示通り、2020年度初めからの実施を考えれば、早急に職員団体等との協議をする必要があることからできるだけ早い段階で協議の場を設定すること。
- ⑩ その他
- 障害者雇用率をきちんと守ること。そのため教職員30人以上の学校では、ひとり以上の障がい者を雇用すること。

アンケートも実施しましたし、
全国の情報も入りますね。



今年もまた、要求がまとまりましたね。

※ 県教委交渉の詳しい内容、また、これについては？など、お気軽に下記までご連絡ください。
当日は、役立つ情報をキャッチできるようがんばります。

2 2018年度 研修会「えひめ冬物語」開催のお知らせ

日時：2019年2月16日（土）13時（12時50分～受付）～16時40分

場所：今治市総合福祉センター（今治市南宝来町1-9-8 TEL 0898-22-6018）

学習内容 ①組合紹介DVD上映・演奏

②実践交流（レポート発表）

③上映会「祝の島（ほうりのしま）」

★書記局冬季休暇 2018年12月29日（土）～2019年1月3日（木）★

子どもたちと教職員の生活を守るため、共に考えましょう！

私たち愛媛教職員組合は、県教委交渉を行ったり、研修会（研究会）を行ったりして愛媛の教育を日々高めるよう努力しています。

質問や感想がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

〒790-0813 松山市萱町6丁目42 コーポラスかやまち1F

TEL(089)924-4546 / FAX(089)924-4403 / E-mail jtuehime@lime.ocn.ne.jp

HP <http://jtuehime.sakura.ne.jp/>

愛媛教職員組合 書記長 堤 剛

